

〔福〕 ケアハウス信愛館

残暑お見舞い申し上げます。

今年も暑い夏となりました。熱中症にならないよう入居者に呼び掛けていた毎日は、それでも朝晩の太陽の位置、虫の鳴き声などに、少しづつ秋の訪れを感じます。

◆「ケアハウス信愛館」は、新しく亀山謙四郎新理事長のもと、これまで役員の皆様方が築いてこられた基礎がより盤石なものとなるべく、職員一同「心を合わせ一つ思いになって」の目標に向かって進むつもりです。岩原侑前理事長には、今後も理事として、これまでの経験を生かした助言を頂けることと思います。

◆七月三日（月）例年通り職員が自宅から持ってきてくれた笹に、入居者にも手伝っていただき七夕の飾り付けをしました。にぎやかに話し声も弾み、二本の笹はすぐに七夕飾りでいっぱいになり、その後短冊に願い事を書いて吊るされました。

◆七月十六日（日）「ヴォーリス記念音

楽会」がヴォーリス平和礼拝堂で行われました。

信愛館の車で送迎し、入居者と職員が演奏を鑑賞しました。「さきらジュニアオーケストラ」が数曲演奏され、学生の方々はキラキラした眼差し、新鮮な感性で、その若々しさがこちらにまで伝わってくる素晴らしい音楽でした。今回も色々と親切に便宜をはかっていたいただき感謝致します。

◆七月十九日（水）滋賀県老人福祉施設

協議会の平成二十九年度第一回「ケアハウス委員会」が県長寿社会福祉センターで開催されました。

各施設共通の課題である入居者の高齢化対策、建物の経年劣化による修繕・補修費の負担増加についての対策等が話合われました。そして災害時にはお互いが協

力することを再確認し、各施設の備蓄状況も報告しました。

◆七月二十六日（水）「夏祭り&すいかの会」が行われました。皆様が楽しみにされている恒例の行事で、メニューは、たこ焼き・おにぎり・おでん・ホットケーキ・冷やし甘酒・天ぷら・サラダ・すいかと迷われる程。おかわりを何度もさかれました。食後は加茂町「葵会」の皆様による江州音頭が披露され、夏祭り気分をさらに盛り上げていただきました。

